

令和3年第7回函館市教育委員会定例会 会議録

| | | |
|--|-------|--|
| 1 | 日 時 | 令和3年(2021年)7月21日(水) 午後1時30分 |
| 2 | 場 所 | 市役所本庁舎7階特別委員会室 |
| 3 | 出席者 | 辻教育長, 藤井委員, 小葉松委員, 須田委員, 神田委員 |
| 4 | 欠席者 | |
| 5 | 事務局 | 川村生涯学習部長, 永澤学校教育部長, 吉本生涯学習部次長, 池田生涯学習部次長, 横川教育政策推進室長, 渡邊管理課長, 小濱学校教育課長, 佐藤教育指導課長 |
| 6 | 傍聴者 | 0人 |
| 7 | 付議事項 | |
| 日程第1 | 議案第1号 | 令和4年度(2022年度)使用小学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて |
| 日程第2 | 議案第2号 | 令和4年度(2022年度)使用高等学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて |
| 日程第3 | 議案第3号 | 令和4年度(2022年度)使用中学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて |
| | 議案第4号 | 令和4年度(2022年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて |
| 日程第4 | 議案第5号 | 教職員の懲戒処分の内申に関し, 議決を求めることについて |
| 日程第5 | 報告第1号 | 令和2年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査について |
| ■辻教育長 | | |
| ○ 開会宣言 午後1時30分 | | |
| ○ 議事録署名人に, 藤井委員, 小葉松委員を選任。 | | |
| ○ 本日の日程のうち, 日程第1, 議案第1号「令和4年度(2022年度)使用小学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて」から日程第4, 議案第5号「教職員の懲戒処分の内申に関し, 議決を求めることについて」までを「非公開」としたいが, いか | | |
| がが。 | | |
| ○ 異議がないので, 「非公開」とさせていただく。 | | |
| ○ それでは, 日程第1, 議案第1号「令和4年度(2022年度)使用小学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて」を諮る。 | | |

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第1号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第2、議案第2号「令和4年度（2022年度）使用高等学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」を諮る。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第2号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第3、議案第3号「令和4年度（2022年度）使用中学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」および議案第4号「令和4年度（2022年度）使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」を一括諮る。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第3号および議案第4号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4、議案第5号「教職員の懲戒処分の内申に関し、議決を求めることについて」を諮る。

(非公開につき、会議録省略)

■辻教育長

- 議案第5号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第5、報告第1号「令和2年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査について」報告を求める。

■学校教育部長

- 「令和2年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査について」説明す

る。令和2年度全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症にかかわる学校教育への影響を考慮し実施されなかったが、教育委員会としては、「様々な制約の中で学校生活を送っている児童生徒の内面の変化等の把握に努め、各学校における指導・支援に生かすことは意義あること」と判断し、児童生徒質問紙調査を実施し、各学校から提出していただいている。この度、北海道教育委員会が公表した調査結果に基づき、函館市と北海道の結果を比較したところ、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の令和元年度との経年比較においては、概ね全道の推移と同様の傾向であったが、函館市の小中学校、北海道の小中学校のすべてで肯定的な回答が低下していたのが、自己有用感や規範意識等に関連する質問項目である「ものごとを最後までやり遂げて、嬉しかったことがあると思う児童生徒の割合」と「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」である。制約された生活の日々が、子ども達一人ひとりの目標の達成に向けた粘り強さや挑戦心などの面で影響があるのではないかと考えられるところである。また、令和2年度の調査における全道との比較においては、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」については、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに北海道平均を上回っているほか、資料に示した項目については、函館市の結果が、北海道との割合の差において5ポイント以上上回っており、「すべての子どもの学びの保障」の実現に向け、各学校において実践されている子どもの学習習慣の定着を図る取組や9年間を見通した生徒指導の取組が、成果となって表れていると考えられる。このように、コロナ禍にあっても、日常生活において、心情面における不安等が少ない傾向が見られたことは、児童生徒に対する先生方の声かけや心のケアなど、学校における指導とともに、教育委員の皆様はじめ、家庭や地域の方々の支えやかかわりがあっての成果と捉えている。

■辻教育長

- 報告第1号について、何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後2時36分

議事録署名人 藤 井 壽 夫
〃 小葉松 洋 子

調製者庶務係 中 田 壯 研